

ワーク・ライフ・バランス&多様性推進・研究プロジェクト

第Ⅶ期の参加企業募集のお知らせ(2026 年度から 2028 年度)

プロジェクト参加企業の募集ご案内

本プロジェクトは 2008 年 10 月、「ワーク・ライフ・バランス推進・研究プロジェクト」として東京大学社会科学研究所を拠点として発足し、2014 年に拠点を中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール）に移すとともに、名称も「ワーク・ライフ・バランス&多様性推進・研究プロジェクト」へと変更し、活動を進めてきました。

これまでの活動では、研究者と参加企業とが共同で、女性の活躍の場の拡大や人材の多様化に貢献する人事制度、多様な部下をマネジメントできる管理職のあり方、仕事と介護の両立可能な職場のあり方などに関して調査研究・情報交換などを行い、提言を取りまとめて、産業界や社会に発信してきました。研究成果を社会に幅広く還元するために開催している成果報告会には、企業で人事管理や多様性推進に取り組まれている担当者が毎年 300 名程度参加し、活発な議論がなされています。さらに、日本におけるダイバーシティ経営や WLB に関する研究・情報発信の拠点となるべく取組みを推進しています。

参加企業や研究者メンバー、さらに活動内容や提言については、<https://wlb-di.org/>をご覧ください。

第Ⅶの活動では、企業の実務家と研究者、そして企業の実務家の皆さんの間のネットワーク構築や情報交換という場としての活動を継続いたします。

プロジェクトの活動予定

● 定例研究会

開催方法と頻度 対面とオンラインでの開催が年間 3 回；オンライン開催が年間 3 回計 6 回（5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月を予定）

開催時間帯 対面・オンライン 原則 15 時から 18 時
オンライン 原則 9 時半から 12 時半

会 場 中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール、駿河台キャンパス）

テーマ 企業のダイバーシティ経営推進などに関係する法改正の動向、先進企業の取り組み事例、海外を含めて最近の調査研究の報告・紹介などに関して意見交換等を行います

対面の定例研究会に交流会を開催：18 時半から交流会を年 3 回開催(会費制)

- **特別研究会（年 1 回程度）** 過去には女性部長の異業種交流会、統計分析セミナーなど
- **モデル事業** 過去には、仕事と介護の両立、女性の活躍、ダイバーシティ経営、多様な部下をマネジメントできる管理職などに関する社員調査の実施（参加を希望する企業のみが参加、自社のデータと参加企業全体のデータを比較分析が可能。

第Ⅶ（2026 年度から 2028 年度）の参加方法

1. 募集企業数 35 社程度（業種・業態、企業規模の制限はありません）

2. 参加費用 年間 33 万円（直接経費 30 万円＋一般管理費 3 万円）＋消費税

「中央大学及び大学院戦略経営研究科の規程等」に基づき中央大学と参加企業とで共同研究の契約を行います。契約の手続きや書式は「中央大学及び大学院戦略経営研究科」のルールによります。

研究会への参加自体が共同研究の内容であり、他に特別なコミットメントは不要です。

一般管理費は、中央大学の規定に基づくものです。

契約は、**単年度契約**と 2026 年度からの 3 年契約があります。

3 年契約を選択した場合は、1 年あるいは 2 年で参加を取りやめる場合、年単位で更新解除が可能です。つまり、1 年契約の更新と形式的には同じです。

参加費用の支払いは単年度毎です（3 年分をまとめて支払うことも可能）。

3. 申込締切 2026 年 2 月末

4. 申込方法

企業名、ご所属、ご担当者のお名前、ご連絡先（電話、メールアドレス）を記載の上、下記の申し込み先に、メールでご連絡ください。確認後、折り返し契約の方法や担当者などをご連絡申し上げます。

問い合わせも下記までお願いいたします。

5. 申し込み先・問い合わせ先

WLB&多様性推進・研究プロジェクト 事務局 担当：松村

e-mail : wlb-jimu-grp@g.chuo-u.ac.jp

● プロジェクト共同代表

佐藤博樹（中央大学ビジネススクールフェロー；東京大学名誉教授）

一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。雇用職業総合研究所（現、労働政策研究・研修機構）研究員、法政大学経営学部助教授、法政大学経営学部教授、東京大学社会科学研究所教授、中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール）教授などを歴任。

専門は、人的資源管理論、ダイバーシティ経営。

兼職として、内閣府・男女共同参画会議議員、経産省・新ダイバーシティ企業 100 選運営員会委員長、経産省・なでしこ銘柄選定基準検討委員会委員など政府の審議会や研究会の委員長や委員など歴任。

武石恵美子（法政大学キャリアデザイン学部教授）

労働省（現厚生労働省）、ニッセイ基礎研究所、東京大学社会科学研究所助教授等を経て、2006 年 4 月より法政大学。2001 年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了。博士（社会科学）。

専門は人的資源管理、女性労働論。

兼職として、「労働政策審議会」「労働政策審議会人材開発分科会」の他、企業の社外役員を務める。専門は人的資源管理、女性労働論。兼職として、厚生労働省「労働政策審議会委員」「労働政策審議会雇用環境・均等分科会委員」「労働政策審議会 人材開発分科会長」など。

● プロジェクト事務局代表

高村 静（中央大学大学院 戦略経営研究科教授）

民間企業勤務、内閣府男女共同参画分析官、成城大学キャリアセンター特別任用教授などを経て現職にいたる。修士（経営学、筑波大学）、博士（学際情報学、東京大学）。

専門は、企業のワーク・ライフ・バランス策及び導入条件が、職場管理者・構成員の意識特性やキャリア形成へ及ぼす影響、柔軟なワークスタイルと個人・組織の成果について研究。